

令和5年度第1回桐生地域保健医療対策協議会地域医療構想部会
結 果 概 要

開催日時 令和5年8月8日(火) 20:00-20:45

開催場所 桐生保健福祉事務所(1階)大会議室

1 開会

2 あいさつ(石田桐生保健福祉事務所長)

3 出席者紹介

- ・ 名簿での確認という形で省略

4 部会長・副部会長の選出

- ・ 選出についての意見なし
- ・ 事務局案のとおり選出

部会長：菊地桐生市医師会長

副部会長：永田桐生市医師会副会長

- ・ 部会長あいさつ

5 議題(進行:菊地部会長)

(1) 地域医療構想について

- ・ 資料1により説明(事務局 小林次長)
- ・ 質疑等 なし

(2) 外来機能の明確化・連携について

① 資料2により説明(事務局 小林次長)

- ・ 質疑等 なし

② 紹介受診重点医療機関として桐生厚生総合病院を選定することを提案(事務局 小林次長)

- ・ 委員から異議なし

(3) 群馬県の新型コロナウイルス感染症対応への振り返り及び課題と評価

- ・ 資料3により説明(県 小内次長)
- ・ 質疑等 なし

6 その他(進行:菊地部会長)

- ・ 委員や県から なし
- ・ 地域医療構想アドバイザーからの助言等

(アドバイザー) この地域は大変バランスがよく見える。

最後に説明があったコロナ対応に関して、本当にしっかりよく頑張ったと思う。いろんなことを世間ではおっしゃっているが、日本はしっかりできたと、特に群馬はそれなりにちゃんとやったと自負していると思う。ただ今後に向けては、どんなものが出てくるか分からない中で、どういう備えをするかということに関しては、また今回のコロナと同じものではないという中で、もう一度しっかりと考え直して、スタンスを決めていく必要がある。この地域は大変優れている感じがある。自分の立ち位置を分かった賢明な病院がたくさんあるようで、心配ない気がする。いずれにしても、一緒に頑張っていきたいと思っている。

(アドバイザー) 先生がおっしゃったように、この地域の各医療機関は役割分担や協力体制がで

きていると感じている。コロナ対応についてもおそらくそうだったろうと思う。

先ほどの桐生地域保健医療対策協議会での医師確保計画に関して、こちらの地域でも将来的に医師の供給が需要を下回り、不足する見込みというような説明があったが、この点に関して、もし何か意見等あったらお願いしたい。桐生厚生総合病院での研修医は少し増えてきていると聞いておりますが、いかがですか。

(加藤委員) コロナが始まった令和2年辺から、都市部がコロナで大変だということで、たぶん地方に残った人も多いのかと思う。そういった関係で令和2年から研修医が居る率が増え、当院も令和2年からフルマッチしている。現在も研修医は全部で1年生、2年生合わせて14名という状況。

ただ、来年のマッチングに関して、コロナが収まったので、群大生が東京に行くとかのうわさが流れている。今ちょうど面接しているところだが、群大生の面接は、昨年、一昨年から見ると少ないという印象がある。やはり県全体として、群馬県に残っていただける取組をしてもらうのがよいと思う。

研修医がやはり十数名いると、残っていただくというか、群大に専攻医として入って、何名かはその後、当院のほうに戻ってくる方もいるので、やはり研修医をいかに多く当院でみるかというのが、この地域の医師確保につながると思う。

研修医に限らず、他の診療科の人数は、全体からすると、やはり少ないと思う。当院も5、6年前から比べると、2割くらい全体でルーティーンは減っている。もともとは75名くらいいたが、今は62名くらいで回しているような状況だ。やはり救急医療などいろいろな面で、地域に対応していくにはもう少し多くしなければきついと思う。

7 閉会